

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（10月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：福井理文

● はじめに

10月の末頃から、ブカレストは毎朝霧に包まれています。ルームメイトが「どうして霧が出てるか分かる？」と言ってきたので何か気候の科学的なことを教えてくれるのかと思いきや、「冬が近づいてるから」と当たり障りのない、冬はそりゃ近づいているのでしょーとしか思わない答えではなく少し残念でした。

仕事ができる人が去っていったこちらの大学の国際課は混沌としています。留学生のFacebookのグループにも「どうして誰もメールに答えないの？」というメッセージがいくつか投稿され、地獄みたいなことになっているなあと思うばかりです。

リトアニアに行ったときに聞いたのですが、リトアニアの大学に今期から来ている福井大学以外の日本人の学生が、佐藤先輩たちの報告書を読んでいたそうです。リトアニアに留学する学生がそもそも少ないので、ネットでヒットする体験談がこれらの月例報告書だそうです。この話を聞いて今までの月例報告書全部書き直したくなりましたが、もう今更どうしようもないのも事実なので、この月例報告書らしからぬ報告書を完遂したいと思います。

● 授業が始まり思ったこと

2年間一応英語の授業受けてたら、最低限の成績取るのは何とかなるな、と思いました。もちろん分野による単語とか知識とか、聞き取れないこととかはもちろんありますが先生から指示されたポイントを押さえてプレゼンテーションなりリサーチプロジェクトなりすれば何とかなるな、と思います。というか、周りの学生が結構適当なときあります。最近のプレゼンテーションの時に、自分は指示されたポイントを押さえ、プラスアルファの情報も入れた中々上出来なプレゼンテーションを作成出来たと自負し、発表の瞬間を待っていたのですが、前の人がプレゼンテーションしてる内容が全く分からないのです。え、調べてくるところ間違えた？と急に焦りました。すると、その生徒のプレゼンテーションが終わった後に先生が、「一つ質問したいんやけど、それ課題関係ないよね？」って仰って、ええ!!違うんかい!と思ってしまいました。考え方がどこか、合っているよりもとにかく発言したりやることを他の学生は重視している気がしますね。それもどちらを重視するべきかは時と場合には依るとは思うんですが。でもこんな学生がいるのももしかしたらうちの大学だけかもしれませんね。他の国や大学の授業の様子も見てみたくなりますね。

- 新しい日本人の方々が来て思ったこと

本当に1か月間見てて、まあよくそんな問題起こるな、と見てて思うしかないです。事前にいる身として知っていることはサポートしたりしますが、実際に起こる問題って想像の斜め上だったりしますね。こういうのを見てると事前にどれだけ情報集めてもあんまり意味ないのかななんて思ってしまったり。大事なのは何が起こってもこれさえあれば大丈夫と自分を安心させれるものの数を少なくしておくことです。例えばもう、スマホとお金とパスポート、これさえあればもういい、とか。そうすることでむしろそれ以外に何かが起こっても動じない精神を身に着けておくのが冗談抜きで有益な気がします。

- ・ 今月の一枚

新ルームメイツと遊びに行きました。前も書いたかもしれませんが、気を遣ったり不満も出たりしますが終わってみると楽しかったことの方が思い出したりすることが前の楽器は多かったのも、積極的にそういう思い出を自分から作りに行くのも大事だと思いました。

